

令和7年度 第1回滑川市DX懇話会 議事概要

日時：令和7年10月22日（水）18:00～19:45
場所：滑川市役所本館3階大会議室

【委員】

役職	氏名	備考
滑川市自治会連合会 会長	松井 正嗣	
滑川市社会福祉協議会 常務理事	斎木 秀則	
滑川市介護支援専門員協会 会長	志賀 由美子	
滑川市民間保育連盟 理事	柳溪 晓秀	
滑川商工会議所 専務理事	杉田 隆之	
滑川市観光協会 会長	早川 祐一	欠席
滑川市営農組合連絡協議会 会長	上坂 清治	欠席
滑川市PTA連合会 会長	松倉 康裕	
株式会社TAM 専務取締役	稻場 康晴	
富山大学名誉教授	山西 潤一	
市民公募委員	大上 卓男	
市民公募委員	伊藤 史織	

滑川市最高デジタル責任者（CDO）	柿沢 昌宏	会長（副市長）
滑川市最高デジタル責任者（CDO）補佐官	岩本 健嗣	富山県立大学情報工学部 教授 (オンライン)

【事務局】

教育長	上田 良美	
総務部長	石川 久勝	
健康福祉部長	石川 美香	
産業民生部長	長崎 一敬	
建設部長	北島 利浩	
教育委員会事務局長	高倉 晋二	
DX推進課長	松山 哲也	
DX推進課	4名	

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 説明
令和7年度の滑川市におけるDXの取組状況について
- 4 意見交換
- 5 閉会

会議の概要

- 会長あいさつ
- 資料説明（資料1）
- 説明事項等に対する意見交換

委員からのご意見をテーマ毎に分類してとりまとめました。
実際の発言順とは異なります。

○市役所内のDXへの取り組みについて

＜意見＞

- ・新しいシステムを導入する際、既存システムとの連携など考えているのか。システムの一元化をすることが効率化において重要。システムが増えて、手順も増えたという事にならないように運用面の検討が必要では。
- ・DXの進捗状況は一見進んでいるように見える。サービスのデジタル化についてはある程度進んだが、次のステップとして課の枠を越えた新しいサービスを作ることが重要になってくる。
- ・AIやRPAでどれだけ職員の業務が軽減されたか？また、RPAにやらせるのではなく、業務自体を無くすことがDXである。
- ・1年前にも質問したが、取り組みのロードマップは作成しているのか？

＜事務局から＞

- ・今年度、各課が保有しているデータの調査を実施した。このデータを今後どのように課の枠を越えた取り組みに活かしていくか考えていきたい。
- ・RPAについては、軽自動車税や口座振替の入力といった単純入力業務に活用している。
- ・ロードマップについては、作成して進めている取り組みも一部あるが、ほとんどの取り組みでは作成していないのが実情。

○デジタルデバイド、誰一人取り残さない情報伝達事業について

＜意見＞

- ・スマホを使えない高齢者が多い。『誰一人取り残されない情報伝達事業』の対象者から、機器を操作できるか不安との連絡があった。市役所と対象者だけでこの事業を進めるのは難しい、福祉事業所とも連携が必要と考える。
- ・共創ポイントについては良い取り組みと思う。ボランティア活動へのきっかけ作りなど、もっと広がっていくと良い。
- ・自分自身がアナログ・紙ベースで生きてきた人間で、デジタルの進歩による変化に対して不安がある。

＜事務局から＞

- ・『誰一人取り残されない情報伝達事業』については、「誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会」を目指して、デジタルに触れるきっかけ作りとして始めるもの。デジタルになじみの無い利用者向けに、声かけのみで操作できる使いやすい機器を導入することとしている。

＜岩本先生から＞

- ・デジタル化の取り組みを進める中で、市民の方に不安感を与えないよう、地域との連携が重要。取り残される、ついて行けないという感想が生まれないような配慮が必要。行政から市民への説明については、わかりやすい資料作成を心がける必要がある。

○産業界のDX、イノベーション推進事業について

＜意見＞

- ・中小企業へのデジタル化支援では、企業間の温度差を伴走支援でカバーし、デジタル意識が少しずつ向上している。さらなる支援を要望。

○教育分野のDXについて

＜意見＞

- ・統合型校務支援システムについては、子どもたちの学習データとの紐付けができるのか？
- ・タイピングスキル向上の取り組みを行なっているが、その先を見据えた施策はあるのか。
- ・ICT支援員の稼働が低く、教育現場での支援を手厚くした方がよいのでは。
- ・子どものプログラミングへの興味を引き上げる教育手法の検討が必要ではないか。

＜事務局から＞

- ・学習データの紐付けについては、今度先進事例を参考に検討していく。
- ・ICT支援員については不足しているような状態であるが、担任教員のICTスキルは上がってきてるので、校内で対応可能な事例も増えている。

○町内会のDX、結ネットについて

＜意見＞

- ・自分の町内会で結ネットの話が進んでいない。役員だけでなく、若い年代にも働きかけが必要では？とりあえず触ってみてから本格導入を検討したいので補助については手厚くしてほしい。
- ・結ネットの補助金については今年度いっぱいで終了だが、駆け込みで申し込む町内会も増えている。その年の町内会長や役員の意識にもよる。補助については継続してほしい。

○全体総括

＜岩本CD〇補佐官から＞

今回話題には上がらなかつたがオンデマンドバス事業については委員の皆様にも是非積極的に関わっていただきたい。地域の足として今後の公共交通の在り方を考える場になる。市民にとって便利でいいものになるよう、自治会をはじめ地域の皆さんから多くの意見を頂きたい。